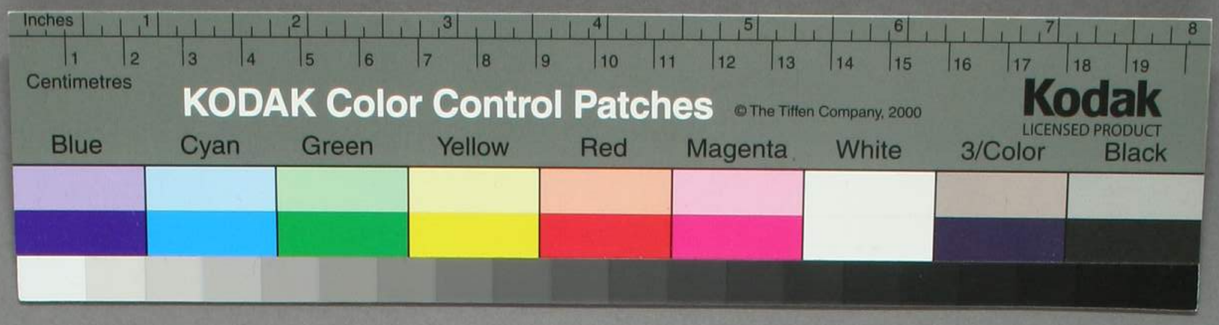
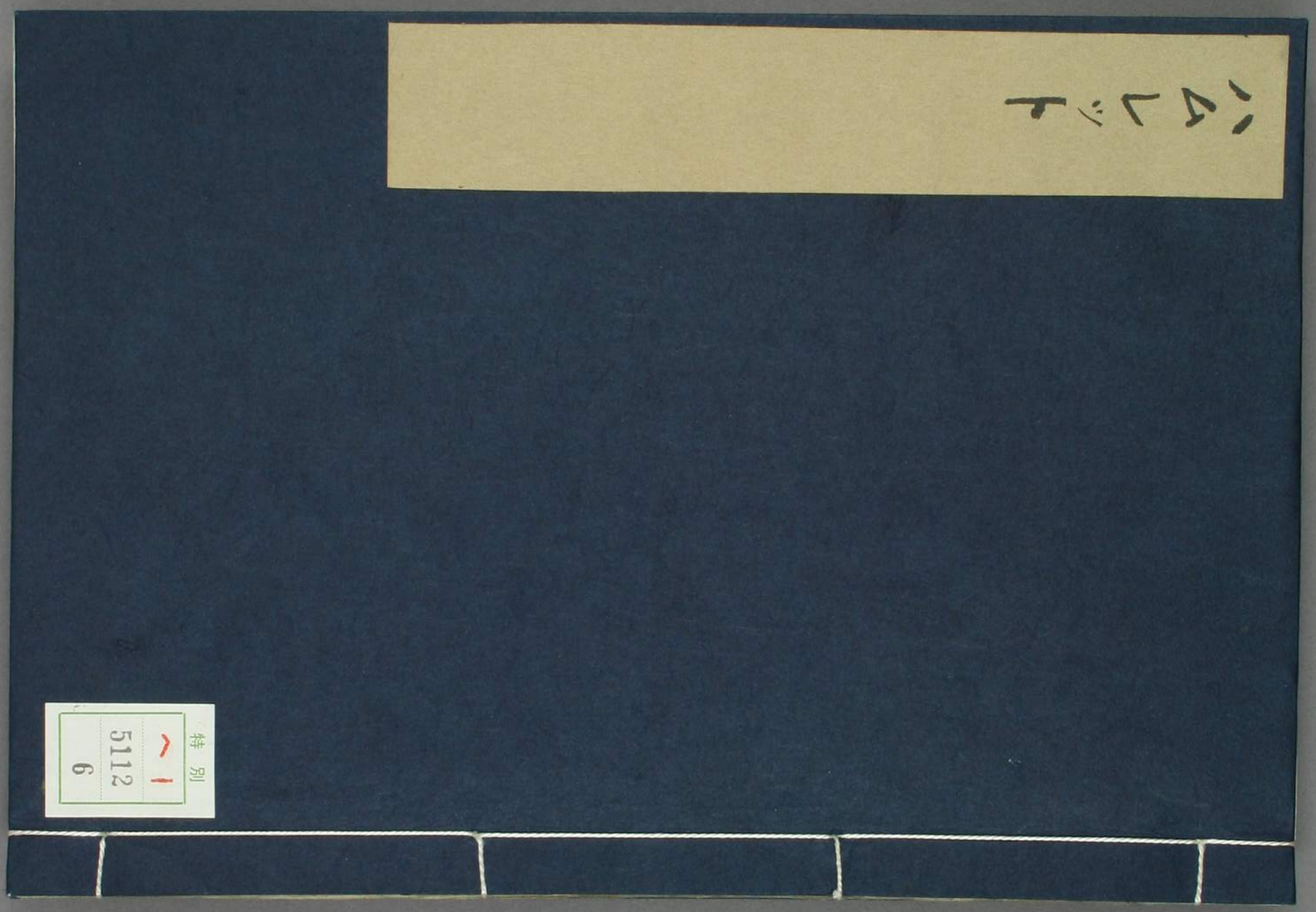

Inches
Centimetres
KODAK Color Control Patches
© The Tiffen Company, 2000
Kodak
LICENSED PRODUCT
Blue
Cyan
Green
Yellow
Red
Magenta
White
3/Color
Black


特別
1
5112
6

91

課目 ハムレット

姓名 紀淑雄

ハムレットを動くこと人世の事と最も円満に完全に考さむとて、内に考察し批判し及首まに傾けり近代の壮者の性格を代表する人也、故に実世界の一人として、社會の一員として、此人の性行を考究せむ、坐もて、其れ為す事興味及び結果を、廣く近代の壮者の上にも懸りぬべし、

我等が見れば、人生を、問題として、爾く実世界に於ける一人のハムレットと考察すれば、専ら此方向に筆を走らせ、戯曲の人物そのの精密なる性情の發達（即戯曲的行為）とは、此範圍に入用なる迄を言ひもてゆけば、

40-9026

東京專門學校試驗答案紙

noble mind.....

ハムレットを下林の昔、最も繁榮を極め、英吉利、波蘭、所謂にさ一國勢と奮ほ一、其名同じハムレットを一子として、其性質と風采とは、オフェリアの眼に映じしに依れば

The courtiers, soldiers, scholars, eye, tongue, sword,
The expectancy and rose of the fair state,
The glass of fashion and the mould of form,
The observed of all observers, ……

天性想像力に富み、美術的の趣味隨て最も發達し、美術の醇美精粹なる戲曲を作り得、演劇に就て高尚卓越なる意見を批評眼を具へ、武勇絶倫なる以上に愛嬌あれ、純潔なる夫婦の愛情溢れ家庭より、独逸なるヴィーラゴルと大学校――疑なく当時の学問の中樞亞米利加の徽号とも申すべく、大学校に学ばんて高尚なる教育を受け、智識德行を練磨したるから、（武藝を以て自ら勵まるる）生来の素質なるに思素心層發達の術を得、却て渠を賞りしを見非なれば、渠を又勘らるる自重心（依憑心にあらず）を有し、此を外に發しては、諸百度の尊敬を受くべき高貴の人に自然と備はるが如く、侵し難き一種の威嚴となり

課目　二　姓名

て現はれなば、又滑稽、詼諧、頓智、訊刺、朝罵の才能を渠が得意とし、而して、此等を渠が樹藝（技）に心を遣ひ、常に用ひられし武器なりけるものから、間に其笑ふ中も涙含まれるり、之れ常に意もなげに胸に潜める熱血樹藝なる真源より迸りし声なりける点、彼の大臣近侍の非常なる殺りに所以也、

此の如くに心しつつ高上なる智性を有し、明確なる判断力を有し、人世と人性と及者思慮を力し、美術と哲学を問題を考慮を力し、共に敏捷なる且深遠なる上に、教育又性質に宜に適ひ、此等生得の諸能力殊に智性を最も發達せしめ、ものの如き益友と交げり、学校より帰りては、高尚なる父王の膝下に儲副として侍り、辯令に嫻うして心臣と清雅と闊なる、天資艶麗紙潔なる佳人オフェリアと見、父王崩御前に洵に順境の流に從

びて日を送り、世の栄境を変ずるに至るまで、不幸御実の何たるを知らずして、遠く未来を慮るに、英武なる父王の庇蔭と、己が傑出なる才能の推薦とに依り、國民の人望日々に増し、父王五歳の後、人同声裡中に王位に即くに疑なく、甚多望なりけるに、渠の面前に人世に棄てられ、荒き風に吹かれて、渠の蓬莱仙島の想像の風景を眺め、理想の月に消遙し居るうち、突然に人世を棄て、俄然父王崩御の飛報に遭ふ、慰藉の情切に、親子の芳陰、孝心深きハムレットをして、悲泣哀慟飛むで言中に帰るに及びて、運命の盲力人世の暴風実然渠の身辺に迫りて戰々慄々、劇変なる境遇に渠又應ぜざるべからざるに至る、渠国王父王の非業の死を遂げしを聞知るや、唯悲嘆の際にあるに又が半身の係る富と安と悲と倶に、慰めんと慰めつ、喪に服さと思しつゝに、嗚呼理性を有する物まら今少しは悲嘆もせざれ、さりとは空吹く風にぞ当てまでて、あれ程迄に可愛がり愛がりし夫の死后、二ヶ月を経過する間に、現在夫の弟と結婚するに、取に甚に大不貞大汚行大恥辱なれば、面を合せて更に恥づる色なく、却て恰り顔に人世無常死生を人の常ならんと説得するに、ハムレットを又今更に母を亡くし、主なりし父を運命に肉体を奪はれ、ハムレットは悲きつらき事なりけるも、其霊魂の像を渠心眼を以て見得るに（――ミ――ミ――ミ――）、母なる人の霊魂を殘酷汚辱の住るにて奪まれ、母を妃として仰ぎ慕ふ殘れる現身を見ねばならぬ事、ハムレットを父の死りて憂して左何に悲しかりけむ、又丁抹王家をは特て名声をとりれ、一点汚濁の影だになき家名に、使れ乞ふ者が何者の権利ありて磨て清ぶ汚点を印すべき（A 注意 ミ ミ ミ ミ ミ ミ ミ）、此等を思へば思ふ程、渠が今迄の想像界に夢にだに見ざりし人性の悪所心に明ら

課目　三　　姓名

に現はれ、渠等

"How weary, stale, flat, and unprofitable
seem to me all the uses of this world!"

と痛嘆せしに至りぬ、実に公しいとは此世の雑事繁務を悪所と見え、いと厭はしく嫌はしくなりたる隨に、うけ〳〵渠等の眼前の理想界の光景一際眩くこと照り映ふり、善と益と美に、悪と益と醜に見え、父と此世に類はぬ人となり、美しき「日の神」となり、人間の極致となり、叔父と愈〳〵放失多淫の半人半獣の怪物と思惟するに至りぬ、公しいと当時の生活を何ら為に存ずる、一の希望とそなく、其行為を奈何に為ば可からん、一の目的とそなく、唯自殺の禁ぜらるゝを怨むのみなりき、此時に一度親友より申書着せる父王の亡失せしと聞き、疑念一閃叔父の上に懸り、其亡失に眼のあり接てより、愈〳〵叔父が先行隠謀と確信し、茲に復讐言とい大義務と

課目　四

姓名

負担せん、肝に銘ぜよ」との一言を深く心底に刻んで、錐行ずるを吟じ、其身命に貴くなりぬ、復讐〳〵と連呼し、渠が魂を心と撹破せし其人を、生あり時しなら〳〵親愛なりけ父君なりを、今を正しく、渠に人間のまゝ極致と思ひし人也、而て其為とは命ぜられし行為即復讐なりの渠なる公明正大なりたるを、之を為す人を所謂天に替りて正義の道と行ひ、害悪と罰するに外ならざるを思はなき、公しいと敢て之を為さゞるは、ならず、此を為すは私怨私憤を晴すにあらず、子として道を善すと共に、理想的の人間の極致なる主が為に、正義公道の命を揮て奸邪を斬り、害悪を罰するなり、渠が責任なる"Olympus"山よりも重く、渠を此世に此義務を果さむとの運命として生れ来りしが如く、其前途に為すべき生涯唯々此復讐の一事に止まり、之を為さ、果さば、渠が人間と異生の目的達せらるゝ

らに深く思慮なき、行為の目的則定まれり、此目的の為に自命を固守
惜む所にあらず、既に之を達せんとて、一旦深く目標の行跡を晦し、智性
の鋒芒を包み、以て自の安全を謀り、二度果して叔父罪意を為しこの其
実証を直に掌の良心に徴し、復讐の好機會を窺はんが為に、狂乱を
装はんと決心せり、既に其苦心空しからず、叔父独り跪きて神を拝し居る
機會を得、又演劇に依りて確に其犯罪を認めしめ、物ならず、躊躇逡巡
優柔不斷空しくまを拱き、敢て動ぶりは何故ぞや、此原因たるこゝ
ぶ為人に存せんなれ、故に我等若し此為人の精髄を看破し考察すれば、
恐くは深く性情を知り、真相を知り、真價を知ることを得べし、請ふ之を
試みよ、

嘗てハムレット迎待オスリックに對ひ……to know a man well, were to know himself
ならんと言へり好く人を知つ自らを知たるべしとは、能く他人を知ることを能はず、

課目　五

既に他人を見て支くべきと差別し、己が為人を知ることは難し、殊に他人の長を見て己が短を補ふが如きは、其難きを一層せり、唯だ心ひとは流石に智慧あり、学識あり、思索力及者心に富むけれども故に、自ら我れと云ふ心を内に考察し、深く其情に制せられて事を誤り、竟に決行敏捷なるを知らず、渠を自ら思ふ所を直に実行し能はざるより、苟も思ふ所を直に行為に現はす人なれば、頻りに飲慕称賛して止まざるも、若し人を己が瑕疵欠点を喋々するならば、正しくなしつゝも其一人なるも、者よ、渠を已と比べきゆりて比べて甚しく賤しとし、又

"Thus conscience does make cowards of us all,
And thus the native hue of resolution
Is sicklied o'er with the pale cast of thought,
And enterprises of great pith and moment,

Why yet regard, yet current turn away

And lose yet name of action,

"A dull and muddy-mettled rascal,……

云々深く己が腑甲斐なきを罵り、「我を臆病者なり」と詰問し、又母と

談論する時、又ゴネリル来たりて見て

"Do you not come your tardy son to chide,

That, lagged in thine and passion,——

と覚えず問いければ、名誉心に欲んで些細の事を口実に遅延と為さ、又

ゴネリルの軍勢を見て

"A thought which quartered, hath but one part wisdom

And ever three parts coward, I do not know

課目　六　姓名

Why yet I have to say "This yet is to do,……

と痛嘆すれば、皆要が為人を自白するにて、渠已が欠点弱所を意識し

省破かりし証なれば、斯くハムレットの自らが意志の決行の敏活なるかりしを

知りしは、渠が傑れし所以にして、知りて猶其を補い実際に励るかりしは、全く渠が

素質為人に因り、実に渠が為まじき原因と意志と強さとを注ぎて有せ

ども拘らず、敢て早く復讐を断行せざりしは、渠自白せるが如く、心界に

躊躇集まり感覚感執及び観念と、決意の場合に容易に運ばざりしに因り

て、決意の躊躇を揺動するは渠が全き性質にして、渠が心界に上ぼ

り感覚及び観念を、所謂殿に入れる人の如く、常に漂泊し流離し、

其間に主なる念起りせを制服し、其感覚及び観念を一定の動機として行為に帰合られざるに、互に相争ひ相妨げ

念ふと雖とも、夫れ意志を決行せざるに、心界に起ひ起れる諸感覚及

徒に心くるものなるを知れども

なる理由なり

其の最大原因は

知らざりしなり

何ぞや

意識の問題

侵害せられ

なる問題

なり

親疎より、孰れかと撰擇し、全心の注意力を之に吸收せしめ、之が動機に
依りて以て行為に移行せしめざるべからず、彼の都て及者を疑惑せる、此決
行の勢力を殺ぎ人をして躊躇せしめ、其躊躇せる間に勢力を消
散し分離せる事、譬へば小兒を側より誘へかけられる時は、速に歩を得
ず、若し何等か他の印象其の注意を奪へる時は、蹣跚跌倒せざる如
し、然れども意志の其性質上より常に制限せられ、其目的は一の單
純なる定限せられる物なるべく、多少の雜なる物に繫がれ、諸の思想と感
覚とは、多少其効果を殺ぐ傾向をもつて、廣き範圍疆域に廣がり
新道筋を、屢〻氣力を消耗せしも此の故なりて、区域を張さるの間に
は反對の関繫を現はせり、若し強さを考へれば、本能と權利とは明か
に意志を決定せしめ、第一の氣力なりしも、反省の如き興味と氣力とを分離し
消散せしめざる故に、行為を遲緩せしめ、ハムレットを交角思慮反省に

課目　七　姓名

敢て、決意の間に彷徨ふと見えるとも、素より死を怖れざる上、數多の場
合に刻然自若たり事明らかなれば、渠と氣力の欠乏せる者、決心の不
能者と言ふを得ず、然れども注意せざるは渠の性質に於ける dualism なり、渠
が一たび其境遇と事件とに刺衝されて起され、反省力を感覚の中に
已と沒却せしめ、性なりて、此を渠と決行の作動とを導きて、却て其處より
逢ひ彼方に渠を導き、クロオディアス、フォーチンブラス、殊にレイエルターズの如き人
を、道に行為を為すべき氣力の部分を、全く消滅せらるべきに見かる
也、凡そ此等の人殊にレイエルターズの如きは、又ハムレットに殺され、妹其の
為に狂氣となりて溺死せしより、稍〻ハムレットと境遇を同じくせし、其為
人全く反し、外部より僅少の些細なる衝動を受ける、直に反動の行と
現はし、自然生存の本能と復讐の衝動とに依りて、決然蹶起せる起
言を衝き王に迫り、其挙動晴天の霹靂の如く、実に壮快活潑凄

しき程なれば、翻てハムレットと見れば、何時も右下處に躊躇し、踏天蹈地の其奉動、実に進躁を限りなし、是人生一面人の素質の弱きが故なり、ハムレットが思想をシェイクスピアに衝動と起さし、興味と興味目的と達に超越して、其目的を達せし上の感歎に於ては、動果の如何を顧慮思案まず達せざるべし、"To go, or not to go, that is question"と其の未だ思慮し、叔父が独り祈禱居る好機を見るも見逃すなど、其消ていと者し、

此の如くハムレットが思想と、一方には常に流轉漂泊せに拘らず、一方には歩然自著大丈夫に恥かるべき覚悟と為し、一方には思慮分別周到綿密此二事若くば物ぶ、又一方には大膽妄断、迅雷耳を掩ふに遑あらざるが如き行為と振舞ふて、渠に二面の性質あるが故なりて、一面は理性主として、一面は感覚感歎及び感情主なるが如し、即渠が素然し

課目　八　姓名

覚悟と、理性最も明らかにして感覚感歎感情を制服せし凱旋の結果として生じたるものにして、渠が思想の流轉せるや、未だ智慧明らかならず、共に欲望と伴生と感覚感歎感情とを生存を争ひつゝ、遠く高尚なる微妙不可思議思にさ、飛行し、如何に決せむるも未決の場合に至らざるが故なり、而して渠に妄断大膽の業を為さしむるに、斯く心界に専闘あるは、若夫れ理性の起きざるに乗じて、感性情と煽動するが故なり、

要するにハムレットの如き智情意の復雑錯綜し、胸中に物と指さるが如く、今日の未完全なる心理研究の結果として、明示せらるゝを素うるべし、其為人に此二面の性質あるを疑ふべからざるが如し、而して此二面の性質あるが故に、或人をして"Hamlet"と頭脳と始終働らきて言はし、或人をして清廉的の人せ、受動的の人せ、渠を名誉心なれば抹殺と簒奪者より恢復し、先朝に報ひ國家を救済せむとする

り〜、淚を

"The time is out of joint; O cursed spite,
That ever I was born to set it right!"

と唯數息するのみにて生を送る凡人や、淚が所業を顧見せず行為に依てのみ考へられきと言はるゝも拘らず、一方は淚を意志弱きにもぞ、柔力之一きたあらずと言はれ得るや、ハムレットの心しワトラ直面して、應に二面と觀るべし此切に髮髭をも現出せざるべし、如何に深夜父王の亡靈の招くが侯に決然決を拠て、マアセラス、ベルナアルドなどの呼はれ勇士さへ戰慄せしに、ポロニアスとコルネリアスとを刺殺せしも、ロセンクランツ、ギルデンスタアンを殺さしめしも、（英國へ行く海上にて賊に遭ひ直ちに蒼闇となり淚が決行心に富める證なり）人を殺すも、此を兼ての計畫なりしやうに考へらるゝ故、（英國へ行く指〜）臺上にて王をしりぞけ一

課目　九　姓名

時の蒼惶に任せて殺したるが如き、ハムレットが所業勇敢活潑なりと言ふべき時を、孰れかと言はば、極め淚が外部の印象と激昂せる感情が誘起ぶる刹那にて、此刹那に外部の激動と之に應じて激せる淚が感情とが、烈しく衝突して電光石火と散らし、刹那なるべければ、淚が生得の反省思慮心の眠れる間に、勇敢らしき行為を為し、直に淚を感動せられず、時を、何事をも為し得ざる断じ、意志弱しと決せば、ハムレットが性質の半面の見とや言はるべし、何とはば淚が死を熟視せしと、折を現はし、柔力を、決して一時の蒼興に因るにあらず、淚が生性の中心に基けるものなればなり、

ハムレットを一方に弱く表然自若する決心を示せしも、一方を心緒紛乱左顧右眄して、其間に意志の揺揺を詩ざりしが如く見えしは、唯淚が氣

質そ、勢烈なる感情ありて起る發作的盲目的行為と殺せた貴ば
して、只管に前の意識と此傾向を抑關せんとし力め、煩悶苦心の末常に
成行きに任ぜんと、其成行き時に、恰も一直線に奈注まる洪流と、奇
石巨巖峻嶮蹲踞せる、幾多屈折の隧道に迂回旋轉せしめて水勢を殺
ぐが如く、稍々あって渠が決斷を全く初の勢を減じ、甚遲慢遲鈍な
行為を為して現ず、氣力阻喪して見つるに至れども亦常なりき、フォーナビラ
その行軍を見、深く人間の性情と人世の狀態とを感ず

——— O, tears shed forth
My thoughts to blood, or to sighing winds,

で決心し、海より帰りてより益々渠が心自若泰然となり、「無望の死と天命
の悪ふまじく We defy augury」と、決然言ひ放つやうになりぬ、渠が内部の
dilemma より外部の catastrophe 即死に至る間の心情の成行の如く、渠が

講目 十

刹那の心情を見ず苦悶奮鬪し、漸次平穩自若に帰せんとせるとき、其間
に多分の猶豫を要せしが故に、結果として外に現ずる動作自ら遲緩とな
りしも、恐らく此を素より意志の弱きが故にあらず、氣力の乏しきが故にあらざる
此を確思想に導かんと意志と常に知らむるの、渠が決心の結果なりしと、
而して一度渠の果ふや、其精神の内部の特質として、忽ち渠を遠高尚
なる思慮反省に導くが故に、渠が眼前に現れる事柄を左右に直大道
接せず、其遠表なる飛翔と思想とを、此處に集結せしめるを要に
容易ならざるも、渠が意志と氣力とを殆ども如何ともなりやすい曖昧糊塗
て、且其自由の刀に欠けざる如きて、畢竟此の如く常に之分なる思慮の要
せられざるなり、

抑々人生とて常に要く傾向得依をもつ、陰き思想を如何ともなり
し、渠が表白を言葉に依り、渠と其を Sincere 者とは確然と

味ひ甚漠然たるき、然れとも我等渠が心中に入り深く考察きたに、渠が思想と為すくもては、善と美との想念なりしが如く、渠の此等の想念と如何なる意義に思惟せりしか、其漠然たる言葉に據りて固より正確に推知し難しと雖、試に揣摩きたに、善といふに想念て、倫理的感覚世に所謂良心といふ漠然復雜なる想念となりて、渠に渠が精神活動の全体に直接の影響を與へしが如く、而して此倫理的感覚と渠が意志との関繋は如何なりしといふに、ハムレットの其倫理的感覚に直接に関繋せりしは、復讐といふ一の欲求なりき、抑も人の己が欲求を満足せしめむる目的をもて、自体を働らかしむる意志の前後にて、必ずや倫理的感覚の伴ふを常とす、其一を意志の活動に先立ち其次向を定めむとて現はるゝものにして、意志の働に門續きて来る結果の如何に至る迄、想像的形象を假成すべし、意志の活動を支配するものは、譬ばハムレットが精神中に速に復讐して父を

講目　十一

姓名

地下に瞑目せしめ、己が心を満足せしむる欲求發するや、之に次きて其を遂むるの方法に関する想念起りしが如く、而して其想念なるや、渠に在ては恐く叔父を暗殺する、若くは人民を煽動して叔父と戰ふ、二者其一に存りしなるも、既に此等の方法を決し、直に実行し、目的を達せむ事固よりハムレットが為人に特有なるや、何なればハムレットは元來理性豊かなる教育を受けしが故に、行為に意志を向けむとするに臨み、其意志の活動に先立ち起りて其を支配せむとする倫理的感覚を、常に直覚的良心と唱き理性の裁可となりけるが故に、之と意志の活動とを互に調和せしめざれば、意志の働に引續き起る倫理的感覚を、甚しき不快の念を起さしめざるべし、而してハムレットを此意志活動の後直に起る、不快なる倫理的感覚に對する、極て臆病なりけり、なれば渠を此不快の感を快感ならしむが為に、意志の働く前に、理性

の方に前に目を傾け、語る所を聽き、之に意志の活動を支配せんと力めしが、斯く只管理路を追ひ、終に其結果を思慮するの事、即渠が行為を牽制するに至れりなり、アリストオトルも言はゞ「若し人の常に思慮に進むのみならば、其人は決して決定に至らざるべし……我等は因果の鎖鎖を追究せざるべし、如何に一事を為さんとするも、其研究に常に止まる」と、こゝにつゞく「人間は其思想感覚を制御する例に依り感歌を殊にして、然れども心の健全なる進行に於ては、外物よりの印象と智の内部の活動との間に、常に平均を保つ、若し思慮の能力過重なる時は、人間は唯思慮の動物となりて、行為の力を失ふ」と、行為の力を失ふに至る語癖あんぐし、渠本来意志氣力に欠かるゝに拘らず、研究の間に極力行徨し、思慮の動物となりて実行の力を感ずるは事実也、

ハムレットが心を悲きし美なる想像又如何なるか、此を渠が想像力に富

課目　十二　　姓名

みて、感情の底なりしと思ふべし、然るに倉皇なるべし、渠を実に詩人的哲学者なる又哲学的の詩人なりき、詩歌に傾ける人に於ては妙なり、美術と智識と心的循環とに、著しく活潑なる興味を有する多くの人に於ては如く、我等をハムレットに於て最も感じ易き感覚と想像を併せ思慮と反省とを、自然に興ぜしめ、洋々たる心と、其を熱心に欲求する情とを有せしめ、即前者と渠に哲学者の気味を帯ばしめ、性質を有して、後者を詩人の気味と言ふべきもの也、而して此詩人の特能を又渠をして眼前なる目的物を認識せしめ、志なる標的を脱出せしめざるべからざるに至らしめ、一方は又渠をして其敏捷なる為に驚かしめ、其意思を此性質なるに因るなり、渠が物の真相を道貫的に頓悟せんが如きなり、実に此特質なるが故なりけり、

以上の如く善美の外に渠を真と愛し、不正、偽善、口実、虚偽、外飾、無道、

野卑等しく嫌ひ、好り、非難し、罵りて、凡て渠が善と嘉し、美と慕ひ、真と変と一事此のごとくしては、之れ真善美等の想念即渠が理想なりしが故にもとより、素より此等の想念を如何に渠を思ひて、模糊そも知る由なしと雖、渠と此理想と合思の主権者たらしめ、行為の標準たらしめ目的たらしめ、人生の道路改造の基たらしめんと欲するが如し、而て理想を何人に在て実現せんとを求めて止まざるものなかるべし、殊にふんとうを於て我等と其切なりと知る、然何としてかなしつつ少年の間を、渠が内部の性情と外部の境遇とを甚相違雑らず、高尚なる又が勝れて、大願の儲貯、貯えて成長し、此身分なりて初て為し得らる、自由と、國君に相應しき権力の経験なる、渠を懐ける人間の権力と最と自由なる極致と相似、此無常流轉界海

……ah most excellent canopy, the air, look you, this

brave o'erhanging firmament, this majestical roof fretted
with golden fire, ……

渠が理想界に酷肖せるなりき、嘗に此世界のみならず、渠を知る人
をして又といひ、おそれおそれといひ、又渠が理想の人物を甚しく殊
なるなりき、又假令ふんとうが心を沉思黙考に傾き易りしとい、其境
遇を生活の幸福なりしより、悲嘆迷離に陥る人と見えざりし、此を渠
が自然に滑稽、頓智、諷刺及び世間を好む性質を具し、又此等の
能を發達せしめ快と思はむとを求む性質を具し、又此等の
まま悲悔なる大災難の中に立つてさへ、猶口に滑稽頓智等（但し思慮と
合し、感きもなく所今迄と殊なれど）を絶ざりしとして証し得べし、思
たに又世界去てより境遇劇変し、見る物聞く物皆渠を嘔吐せしめざる
なく、天地を雑草として恒なり、世界を一個の固固なり、人間を渠を喜

ばしめざるべし、"Sails idel" なりて美の大元素なり、"No passion of desired love" の著なり、母と同じく "Frail" なりと思推せしに至りぬ、渠が感覚に縋る事世界の現象動く益渠が思想を系統に依て理想の支輝益々増し赫耀として渠が心眼に閃くに至りぬ、渠倉つて復讐を決行せんと能はざりしは、其眞摯渠に厳りて困難且重大なりしが故にあらずして、正しく渠が此理想の支類大なりしが故也、渠をして此理想を以て意志を活動せしめ、引誘せしめ、左右せしむるに、如何にして其外部の動作と、内部の自由なる直正なる道徳的動作とを得べきを知らざりて苦闘せりき、夫れ人の思想と感覚と、意志の動作とは狂立まに踏ひ、心を撹乱し重ねしめ、動作をおぐるに拙劣なる所為を以て、其状態を呈せしめ、我苦しむしつに於て此状態を認めり、其を渠自ら

課目　十四

"I have of late——but wherefore I know not——
lost all my mirth, forgone all custome of exercises!!!!!"

と言ひしを見て明らかなり、意外に渠が狂気を假装せりとは、世人の多くの事門 "mad-dare" が渠が夢の穏やかなりし事実などを証明せざるべし、屢々渠に真に狂気発作なりしが如きも、詮ずる所渠失つ迷離病に罹りたる故なりしなるべし、さはいふとも狂気なりしか将狂気を装ひしかは、畢竟劇的人物たるべき、於くことを問はざるべし、

之を要するに、ハムレットを差別見と等見とを明らかにせば、実際異と理想界の彊界と等閑視し混淆し、其心を渠意廣大且力ありしを拘らず、意志の發動を妨げ、動力と、盲目的發作的衝動とを予覚せしめ、敢て前者を以て後者を制肘せしめず、自由なる思想と不自由なる欲

情と矛盾すべし、道徳上必然なる決定と、事情なる偶然的傾向と矛盾するときは、換言すれば、後次顧而如何するか、又何等の手段に依りて、真実視し眼前に髣髴たる理想的活動力の源なる、道徳的正確の志脚地に到達し、完全なる支配自覚を得たるとは、只管に理想的に実際思の事件を處置したる苦慮に出でたるか、端なく一時急劇なる欲情衝動に駆られ、往々其理想と反する意外の挙動を為し、精々偶然なる機會を得たるならば、復讐を遂げて空しく此盲目的衝動の犠牲となりたるとき、嗚呼若し心ゆくまで完全なる支配心に富み、深く欲情に駆られざるを知るとき今数歩なりとせば、ホロコアスと刺殺し、オテロと狂死せしめて怨とせざるべからざるに、遂に復讐の義務を果し得たりとせば、然ちざりしは之れ深き性質に於ける罪過の為に運命よりの罰と謂ふべきなるべし、

終